

# ロジックモデルを活用した分野別施策の読み取りについて

ロジックモデルとは・・・  
 原因と因果関係の論理構造図。「何のために、何をするのか」「何をすることで何をもちたらすか？」を示す。  
 がん計画では、分野毎の目標と施策の関連付けを示す。 がん政策サミット「誰にでもできる！第3次がん計画策定ガイドブック」より一部改変



（1）がん予防（たばこ対策分野）

【めざす姿】 県民が、がん予防に関する正しい知識にもとづいたがん予防に取り組み、がんの罹患が減少している。

個別施策  
（目標のために取り組むこと）

中間目標  
（最終目標のために必要な体制整備）

最終目標  
（あるべき姿）

初期アウトカム

個別施策

指標

中間目標

指標

最終目標

指標

たばこ対策  
の充実

- ①市町村が主体となった普及啓発
- ②禁煙支援体制の整備・充実
- ③禁煙支援の推進
- ④20歳未満の者未成年者の喫煙防止対策の強化
- ⑤※要検討  
受動喫煙防止対策にかか  
る現状の把握と  
県民への分かりやす  
い表示の推進  
（健康増進法改正前  
に策定された内容）

- ・普及啓発の実施市町村数
- ・禁煙支援リーフレットの活用機関数  
（市町村・医療機関等）
- ・禁煙支援協力薬局数
- ・禁煙支援協力薬局の相談実績数
- スパイロシフトの活用市町村数
- ・妊婦喫煙率
- ・喫煙防止教育の参加人数
- ・※要検討  
敷地内・建物内禁煙の実施市町村数  
（健康増進法改正により行政機関の庁舎は第一種施設と位置付けられた）
- 受動喫煙防止対策にかか  
る説明会の参加人数
- ・※要検討（受動喫煙防止対策の指標）

- ①禁煙希望者が禁煙できている
- ②県民が望まない受動喫煙にあわない

- ①喫煙率
- ②受動喫煙にあう人の割合
  - ・行政機関
  - ・医療機関
  - ・職場
  - ・家庭
  - ・飲食店

- ①がん罹患率減少
- ②がんに関する正しい知識を持っている

- ①がん罹患率
- ②過去1年間にがん検診を受診した人の割合
- ③※要検討（がん予防に関する正しい知識の指標）  
生活習慣病・感染症予防と整合性を図る